



つながりやすい
ケイタイ活用を提案します。

根拠

ケイタイはどこでもつながるわけではない。
つながりやすい場所とつながりづらい場所がある。

次のケースは圏外になるときです。

ケース1

街を歩いていると突然圏外になる場合があります。その時どうしたらいいのでしょうか?

ケース1

アンテナを垂直に立てるともっと電波がキャッチされやすくなります。それでもダメなら一度電源を切り、そしてつけてください。ケイタイは電源を入れるとその場で一番強い電波をキャッチしようとするからです。

ケース2

高いビルの上では基地局からの電波が届かないと圏外になります。その時どうしたらいいのでしょうか?

ケース2

アンテナを横に向けてください。横に向ける事によって下にある電波を集めやすくするために、高いビルと言うのは通信のアンテナがついているビルより高い位置にいると言う意味です。

ケース3

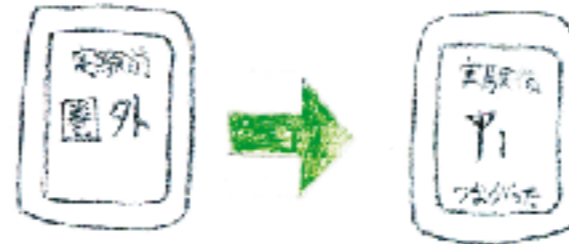
工事がされていないトンネルや地下は電波が届きません。その時どうしたらいいのでしょうか?

ケース3

電波が届かないトンネルや地下などは、対応策がありません。しかし長時間圏外の場所にいる事はあまり良いことではありません。なぜなら圏外の場所では電波をキャッチしようとするので電池の消耗が多いのです。電気を長持ちさせるために圏外の場所では電源を切った方が良いでしょう。

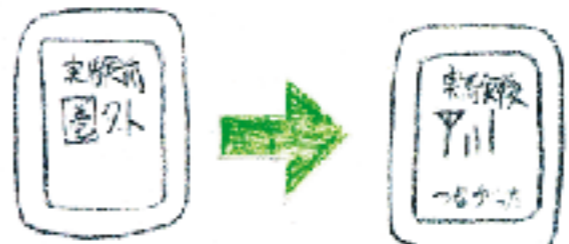
左のケースごとの実験と対策

ケース1



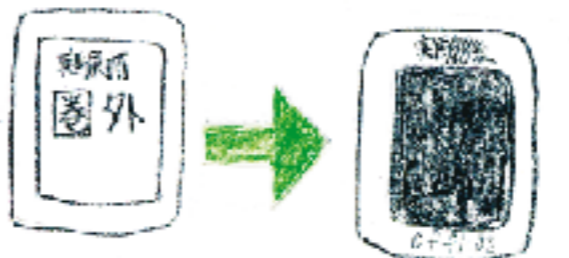
6月22日(土) 家の近くの圏外エリアで実験しました。

ケース2



6月29日(土) ラボマーク797-60号展望台で実験しました。

ケース3



6月20日(木) 家の近くの某デパートで実験しました。

結論

これらの対応策は絶対に成功するとは言えません。電波は難しいものなのです。しかし、実験の結果のようにできる場合もあるので圏外でもあきらめないでください。場所を移動してみたり、自分でできることを試してみてください。